

土砂災害防止月間の取り組み 【6月1日～6月30日】 ～日頃の備え・早めの避難が重要です～

地球温暖化に伴う気候変動により、大雨の頻度も増加する可能性が高く、土砂災害の増加・激甚化が懸念されています。

そこで国土交通省と各都道府県では、毎年6月を「土砂災害防止月間」として、土砂災害の防止と被害の軽減を図るための各種活動を実施しています。

☆長野原出張所の取り組み

長野原出張所では、管内の小学4年生を対象にした砂防施設見学会を実施し、長野原町と嬭恋村の5校、計82名の児童に参加していただきました。

当日は、現場見学に加え魚の放流や百年石製作等の環境体験学習を交えながら、砂防施設の役割や河川的环境保護などについて、一日楽しく学習することができました。



嬭恋村立西部小学校



百年石
(長野原町立応桑小学校)



長野原町立応桑小学校



長野原町立中央・第一小学校



ヤマメの稚魚放流
(嬭恋村立西部小学校)



ヤマメの稚魚



百年石製作
(長野原町立北軽井沢小学校)